

# Mr.瓦プロ2000 マイナーバージョンアップ (Build259a) 変更点

(株)ヤナイ・ソフトウェア

## 1. 計算式用変数を追加しました。

計算式の設定に以下の変数を使用できます。

- ・ {比較[変数 = 定数]} 変数と定数は同じ値  
例：勾配が 10 寸のときのみ項目を出したい場合  
%勾配面積[10,10]
- ・ {比較[変数 <> 定数]} 変数と定数は違う値
- ・ {比較[変数 >= 定数]} 変数は定数以上  
例：軒の合計長さが 100m 以上の場合  
{比較[長さ[軒] >= 100]}\*長さ[軒]
- ・ {比較[変数 <= 定数]} 変数は定数以下  
例：面積が 50 平米以下の場合  
{比較[面積[下地] <= 50]}\*面積[下地]
- ・ {比較[変数 > 定数]} 変数は定数より大きい
- ・ {比較[変数 < 定数]} 変数は定数より小さい

{ } は比較演算範囲です。この中の結果は 0 か 1 になります。

また、比較変数同士の足し算・掛け算が出来ます。

これにより複数条件の OR (足し算) や AND (掛け算) を行うことが出来ます

例：勾配が 5 寸以下、なおかつ面積が 50 平米以下の場合の面積を出す式

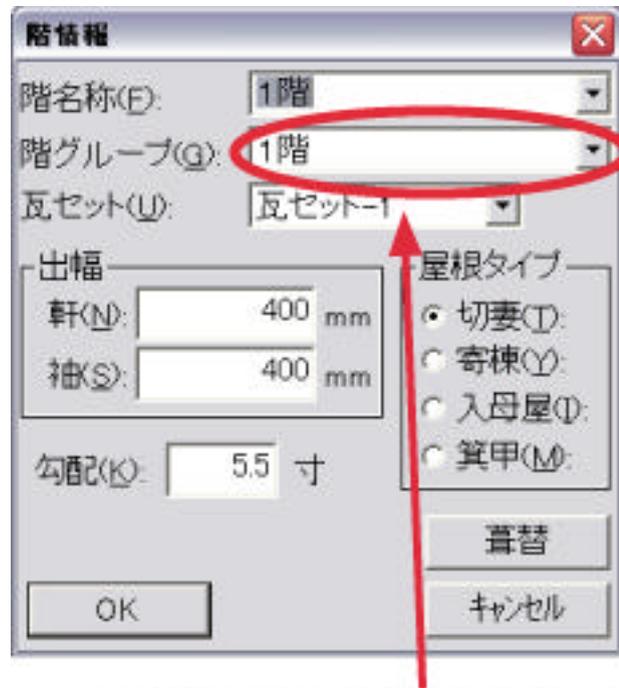
{比較[%勾配面積[0,5.01]}\*比較[面積[下地] <= 50]}\*面積[下地]

例：勾配が 5 寸より大きく、もしくは面積が 50 m<sup>2</sup>より大きい場合の面積を出す式

{比較[%勾配面積[5.01,99.9]}+比較[面積[下地] > 50]}\*面積[下地]

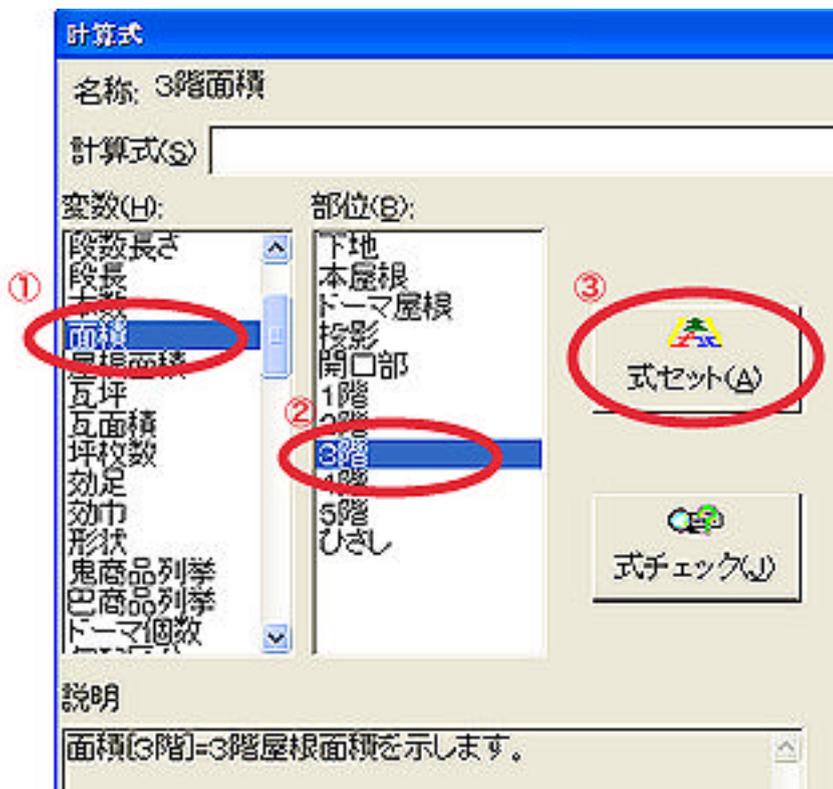
## 2. 計算式用の変数「面積[]」で階別の面積を取れるように変更しました。

階情報の画面で階グループを設定してください。(何も設定しない場合は、1階になっています)



何階として扱うかをこの項目で設定

計算式を設定する際は、変数 面積[]に値を取りたい階グループを指定します。  
3階の面積を拾い出す計算式を設定する方法は以下のようになります。



1. 変数の項目で「面積」を選択します。

2. 部位の項目で「3階」を選択します。

3. 「式セット」ボタンを押すと「計算式」の項目に式が挿入されます。

- 3 . 材料明細書の明細項目の幅を調整しました。  
従来の帳票に比べて項目名を広くしました。

お問い合わせは下記までお願い致します。  
〒 742 - 0033 山口県柳井市大字新庄423番地1  
 (株)ヤナイ・ソフトウェア  
 TEL (0820)23 - 0003  
 FAX (0820)23 - 5300